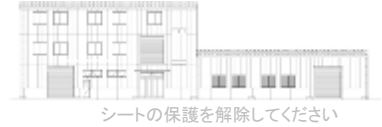


# CASBEE-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小林精工株式会社本社工場	階数	地上3F
建設地	大東市新田境町747番1	構造	S造
用途地域	工業地域・法第22条区域	平均居住人員	40人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2015年6月1日
敷地面積	2,219 m <sup>2</sup>	作成者	(株)前田組 石田才知
建築面積	1,323 m <sup>2</sup>	確認日	2015年6月1日
延床面積	2,666 m <sup>2</sup>	確認者	(株)前田組 尾崎敏明



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 86%  
③上記+②以外の 86%  
④上記+ 86%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。  特になし。	<b>Q2 サービス性能</b> 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 リフレッシュコーナーを設け、空間、スペースを比較的ゆったり確保する等	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。  特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。  事務所の設備消費エネルギー等に配慮し、3階外壁面にはウレタン吹付断熱等	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。  特になし。	<b>LR3 敷地外環境</b> 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。  特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0028

Osakafu-新築・既存 2015V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)小林精工株式会社本社工場					
		建設地	大東市新田境町747番1					
		用途/区分	工場 事務所					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
<b>再生可能エネルギー 利用施設の導入状況</b>		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
<b>エネルギー消費量の報告</b>							報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
<b>省エネルギー対策</b>		<b>① CO2削減</b>						
		<b>② 省エネ対策</b>						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	2.0	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.0		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない		
<b>みどり ヒートアイランド対策</b>		<b>③ みどり・ヒートアイランド対策</b>						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				1.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				1.0		
<b>その他</b>								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								